市民のしろは 5ヵ



あの日、自宅の裏山が崩れ、2軒 の家を巻き込んだ土石流に襲われ

ました。2週間あまり、親戚の家 に避難を余儀なくされましたが、 何より命があってよかったと思い ます。今は、周辺が整備され、安

第16号(平成5年9月)2面記事 ▲平成5年8月6日、100年に一度といわれた記録的な豪雨により、本市は死者・行方不明者が48人 にのぼるなど、多くの被害を受けました。その記録は、以後の防災の教訓となりました



防災特集号(平成12年6月)

第48号(平成19年11月)

▲平成2年4月、鹿児島駅東側 に「翔ぶが如く館」がオープン

し、延べ46万人が訪れました



▲平成20年には大河ドラマ「篤姫」が放 送され、鹿児島は大いににぎわいま



▲平成16年11月、1市5町が合 併し、市域が大きく拡がりま



増山 トヨ子さん (東坂元在住)

市民のひろば

農児島マラソン 2016

東児島マラソン2016 交通規制のお知らせなど

▲開催前、市内各所で見 られた練習風景

鹿児島市のあゆみがわかる 広報デジタルアーカイブ

旧鹿児島市と旧谷山市

の合併前の昭和20年代か

ら現在までの広報紙を読

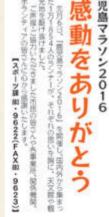
むことができます。

かごしま

第585号(平成28年2月)

心して暮らせています。

号(平成28年4月)4面記





▲平成28年3月6日、史跡や景観など本市 の魅力を体感できる「鹿児島マラソン」が 初開催。早春の鹿児島路に、約1万2千 人のランナーが国内外から集まりました



▲平成27年7月、旧集成館(反射炉跡、旧 鹿児島紡績所技師館など)、寺山炭窯跡、 関吉の疎水溝が世界文化遺産に登録され

のたび600号を迎えました。

第1号が生まれたのは、旧鹿児島市と



▲平成23年3月、九州新幹線が 全線開業し、3時間50分か かっていた博多駅-鹿児島中 央駅間が最速1時間19分で結 ばれました

市ホームページトップ ページ⇒『広報紙を読む』

当初2面だった紙面も、今ではフルカリーに、市民の皆さんのご自宅にお届けりーに、市民の皆さんのご自宅にお届けしています。 ろば」を、これからもご愛読お願いいた市政をつなぐかけ橋「かごしま市民のひで愛される広報紙へ進化中です。市民とターの皆さんと協働しながら、より身近 ざまな情報を充実させてきました。子育て支援など、暮らしに密着したさまラーの24面に拡大。福祉や環境、防災、 します。 また、8・6豪雨災害、1市5町の合 現在、大学生や公募市民の編集サポー

広報紙「かごしま市民のひろば」が、こ

市民と市政をつないで50年

鹿児島市長